図書館だより

第 43 号

2021 年 11 月 1 日発行

姫路日ノ本短期大学図書館

一 座 建 立

図書館長 教授　有 方 秀 樹

今夏、兵庫県立図書館に行く機会を得た。

明石駅から直ぐ北、早朝からの蝉時雨の中、木漏れ日の輝よう明石城公園内に歩を進める。

木々のそよぎ、微かな風の爽やかさの中、現れた建物は煉瓦を主体とした造りとなっており、公園の緑に似合った様相で出迎えてくれた。

周囲の木々と自然に溶け合った公園の、もっとも奥に位置するこの建物。駅にもっと近い方が便利だのに、という見方をする向きもあるだろう。しかし、歩いてみてこそはじめて緑の中に佇むこの図書館という建造物の構想を描いた人の気持が、改めて理解できるような気がした。

きっとこの建物は、建物とそこに辿り着くまでの風景や時間の全てをも融合させ、本を読むというイメージを伝えているのであろう。だからこそ、その意義をもつのではないだろうか。本を読むという行為そのものだけの視点から離れ、そのものを包む時空間の全てに目を向けてみる時、本質は変わって見えてくる。

本を読むという行為をイメージするとき、こころの発する想いのようなものも一緒に伝えていることをもあらわしているといえよう。

この緑の空間の中に身を置いてみると、ゆっくりとした時の流れの中、清々しい気持ちになる。

茶会の目的の一つとされる、一座建立。

茶道には、茶席は「主客一体」、亭主と客とが一体となって創り上げるものだという考えがある。

「亭主は客の気持ちになり、忙しいのにわざわざ来ていただき、本当に有り難うございますと思い、精一杯もてなす。客は亭主の気持ちになり、私のためにこんなに気遣いいただき、大変有り難うございますと思い、礼を尽くす。この主客一体の境地は、亭主の心配りと表現力、そして、亭主の機微を感得する客の力量とが合致し成立する。だからこそ、お互いの心が一つになった時、単に味が良いというだけでなく、心にしみじみと染み入るお茶がいただける。」と、千玄室さんは述べている。

この兵庫県立図書館には、主客に一体感を感ずるほど充実した茶会となることをいう伝統的精神が生かされているような気がする。

翻って、本学学舎への正門からの佇まいはどうだろうか。
百周年記念館を入ると、左に学生ホール（食堂など）、右に管理棟(事務局・研究室)、奥に講義棟など。美しい自然環境に恵まれた、総面積87,000㎡甲子園球場グランドの約6.7倍の高大な敷地の中で、鳥のさえずり、時折々に彩られる山々の風景など。交通至便ではないものの、教育の視点から見ると、そのすべてが素晴らしい豊かな佇まいである。

書物のページを開くときの独特のインクとページの匂い。そこにはスマホやPCでは得られない感動が待っている。
スマートさこそがかっこ良しとされる近年。
軽薄短小が全ての時代。
額に汗するより、できれば汗を避けたいと誰しもが思う。
真面目な取り組みは敬遠されがちであり、尊敬されるべきは稀であるのかもしれない現在、私たちは利便性を追求する余り、そのものの本質を見失うことが多くなってきているのかもしれない。

（兵庫県学校図書館協議会顧問）

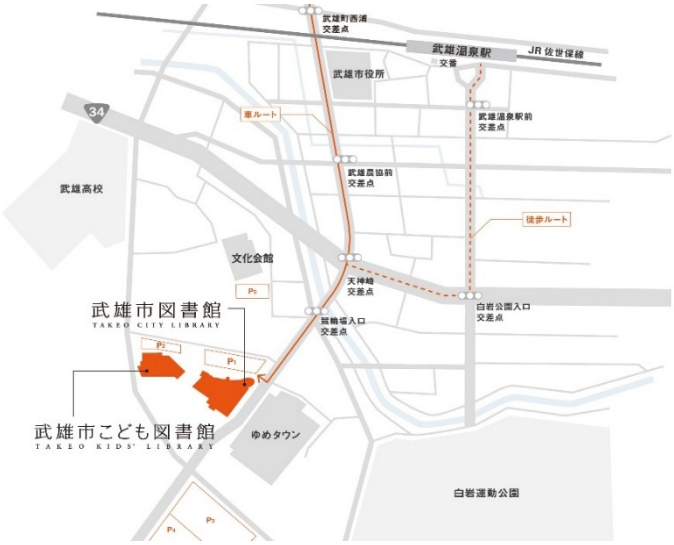
行ってみたい素敵な図書館！part2
～佐賀県武雄市図書館～

司書　高橋玉緒

人口わずか5万人の温泉町、武雄市の2013年にリニューアルオープン　したその図書館は、公立図書館でありながら、県外からも多数の観光客が訪れる、一大観光スポットです。
吹き抜けで天窓のある、明るく開放的な空間は、木の温もりを感じるおしゃれな雰囲気。またカフェ（スターバックス）が併設されていて、購入した飲み物は閲覧スペースに持ち込むことが可能です。コーヒーを飲みながら、ゆっくりと読書・・、至福の時間です。
更にはTSUTAYA書店が1階にあり、本や文具などの購入も可能。Wi-fi環境も整い、ipadの貸出サービスもあるとか！
それもさることながら、一番の驚きはなんと、Tカードを利用カードとして使用でき、図書を借りると、ポイントまで付くとか！市内各所に図書返却BOXまで設けられており、至れり尽くせりの図書館です。温泉旅行のついでに、図書館で本を借りて宿で読書の後、観光先で返却。
こんな旅行も新鮮です。

武雄市図書館ホームページ https://takeo.city-library.jp/

［アクセス］



国立国会図書館って？

司書　高橋玉緒

国会に附属図書館があることをご存じでしょうか？

国立国会図書館は昭和２３年（１９４８年）に、国会議員の調査研究に資するため設立された、国会に属する唯一の国立図書館です。

主要な役割として、まず、国会活動の補助として、資料・情報の収集・保存・情報資源の利用提供があります。

私たちが普段、図書館を利用する上で一番関わりのあることが情報資源の利用ですが、設立当初から比べると、現在の利用環境は大きく様変わりしています。

図書館といえば、紙媒体の図書・雑誌・新聞がメインですが、最近ではCD-ROMなどの電子媒体、オンライン資料やwebサイトなど様々な形態の資料・情報が増えています。それに伴い従来の来館サービスに加えて、デジタル化資料のインターネットでの提供、遠隔複写サービスなど現代のデジタル化社会での利用環境が整えられています。

先日この国会図書館で提供されているデジタル化資料を、送信サービスに参加している近隣の公立図書館で閲覧いたしました。７０年くらい前の刊行物で絶版､所蔵のある図書館がほとんどない資料を専用パソコンで読むことが出来ました｡必要な個所は複写申込でその場で複写もしていただきました。

このデジタル化資料がなければ、私がこの本に出会えることは皆無に等しかったと思います。

まだ一度も訪問したことのない国会図書館の資料を初めて読んだ場所が、まさか地域の公立図書館であるとは夢にも思いませんでした。

とはいえ、一度は国会図書館に出向き、本物の図書を館内でゆっくり読みふけりたいものです。

東京本館　東京都千代田区永田町１－１０－１

・東京メトロ有楽町線「永田町駅」2番出口　徒歩約5分
・東京メトロ半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口　徒歩約8分
・東京メトロ千代田線「国会議事堂前駅」1番出口　徒歩約12分
・都営バス　橋63系統「国会議事堂前」停留所　徒歩約5分

関西館　京都府相楽郡精華町精華台８－１－３

・JR学研都市線祝園駅／近鉄京都線新祝園駅から
奈良交通バス「36　祝園駅　光台循環」「56または59・58　学研奈良登美ヶ丘駅」「37　けいはんなプラザ」「国立国会図書館」停留所　約10分
又は精華くるりんバス「アピタ・コーナン前」停留所　約10分

・近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅から
奈良交通バス「56または59　祝園駅」「国立国会図書館」停留所　約15分

・車での来館（駐車場約200台）
京都方面より：京都→城陽I.C.（京奈和自動車道）→精華学研I.C→精華大通りを西へ
大阪方面より：国道163号→府道52号（奈良精華線）を北へ
奈良方面より：国道24号→国道163号→府道52号（奈良精華線）を北へ

姫路日ノ本短大図書館　秘蔵図書紹介

司書　永野順子

本学図書館には、開架コーナー以外にも非常に貴重な蔵書が保存されています。
今回は、その中の「一組」を紹介します。

復刻「キンダーブック」フレーベル館

『昭和２年11月～昭和１６年までの戦前版のうち選択された「復刻４０＋２冊」の「おはなし絵本」で、４２冊の背景には、子どもの世界・教育の世界・文化・芸術の世界、そして一面では日本の風俗の歴史も見せてくれます。』
（復刻キンダーブック目録　発刊のことばより）

貸出出来ませんが館内閲覧可能です

1　外箱だけ見るもよし
2　ちょっと１・２冊開いて見るもよし
3　じっくり読んで一世紀近く前の世界に浸るもよし

他では出会えない 何だか嬉しくなる絵本たちです。

雑誌付録配布会

1　応募期間
　9月27日（月）～10月1日（金）
2　抽選日時
　10月1日（金）16：20～

図書館で保管していた雑誌の付録を、希望者に抽選で当たる会を催しました。

ポーチやメイク用品・カバンなどから選んで投函。

投函された番号の封筒を一つ一つ開封していきます。ちょっと緊張・・・

メイク用品が人気でした。
はずれた方、ごめんなさい。